

順天堂大学浦安病院救急患者動向 (平成18年度)

救急受診患者総数	21407名
成人18335名、小児3072名	
入院患者数	3033名
ICU入院数	628名
救急車搬入件数	5251件



小児3次救急 (2007.4.1 ~ 2008.5.31)

- 順天堂大学浦安病院 653床
- 新型救命救急センター ICU 15床
- 患者総数 1045名 小児患者 38名(3.6%) 男児/女児:21/17
- 内因性疾患 19名 外因性疾患 19名

けいれん重積症	5
拡張型心筋症	2
SIDS	2
麻疹間質性肺炎	2
AVM	2
その他	
横隔膜ヘルニア	1
DKA	1
急性脳症	1
細気管支炎	1
脳梗塞	1
不明	1

転倒・転落	11
交通外傷	5
中毒	3

小児腹部鈍的外傷の9例 (2007.9~2008.12)

症例	年齢	性別	受傷転機	損傷臓器	合併症	基礎疾患	初期治療
1	13	F	転落	肝	腰椎・踵骨	摂食障害	輸液・輸血・TAE
2	6	M	交通事故	肝・腎	肺	なし	輸液・CT
3	8	M	転落	腎	なし	なし	輸液・CT
4	11	F	自転車 転倒	肝	なし	なし	輸液・CT
5	7	M	交通事故	肝	肺・脛骨	ADHD	輸液・CT
6	15	M	転倒	肝	肺・肋骨	なし	輸液・CT
7	11	M	自転車 転倒	脾	なし	なし	輸液・CT
8	8	F	打撲	脾	なし	なし	輸液・CT
9	9	F	転倒	十二指腸	なし	なし	輸液・CT

小児急性中毒の5例(平成17・18年度)

症例	年齢	性別	中毒薬物	病床	治療
1	15	F	アセトアミノフェン	ICU	活性炭、N-アセチルシステイン
2	2	M		一般	輸液
3	8	M	ベンゾジアゼピン	ICU	輸液
4	1	M	ベンゾジアゼピン	ICU	輸液
5	2	F	ベンゾジアゼピン	ICU	輸液
6	15	F	ベンゾジアゼピン	一般	輸液
7	5	F	メタミドホス	ICU	活性炭、下剤、輸液、PAM、硫酸アトロピン

日本小児科学会 —わが国の小児医療・救急医療提供体制の改革に向けて—

地域小児科センター病院施設基準作成委員会

中核病院

高度専門医療
周産期センター
小児救急科
PICU
救急搬送

入院・救急の集約化
救急・入院医療の広域化
病診連携の強化
身近な医療の継続
女性医師の増加
労働条件への配慮



3次救急

1次

小児科診療所

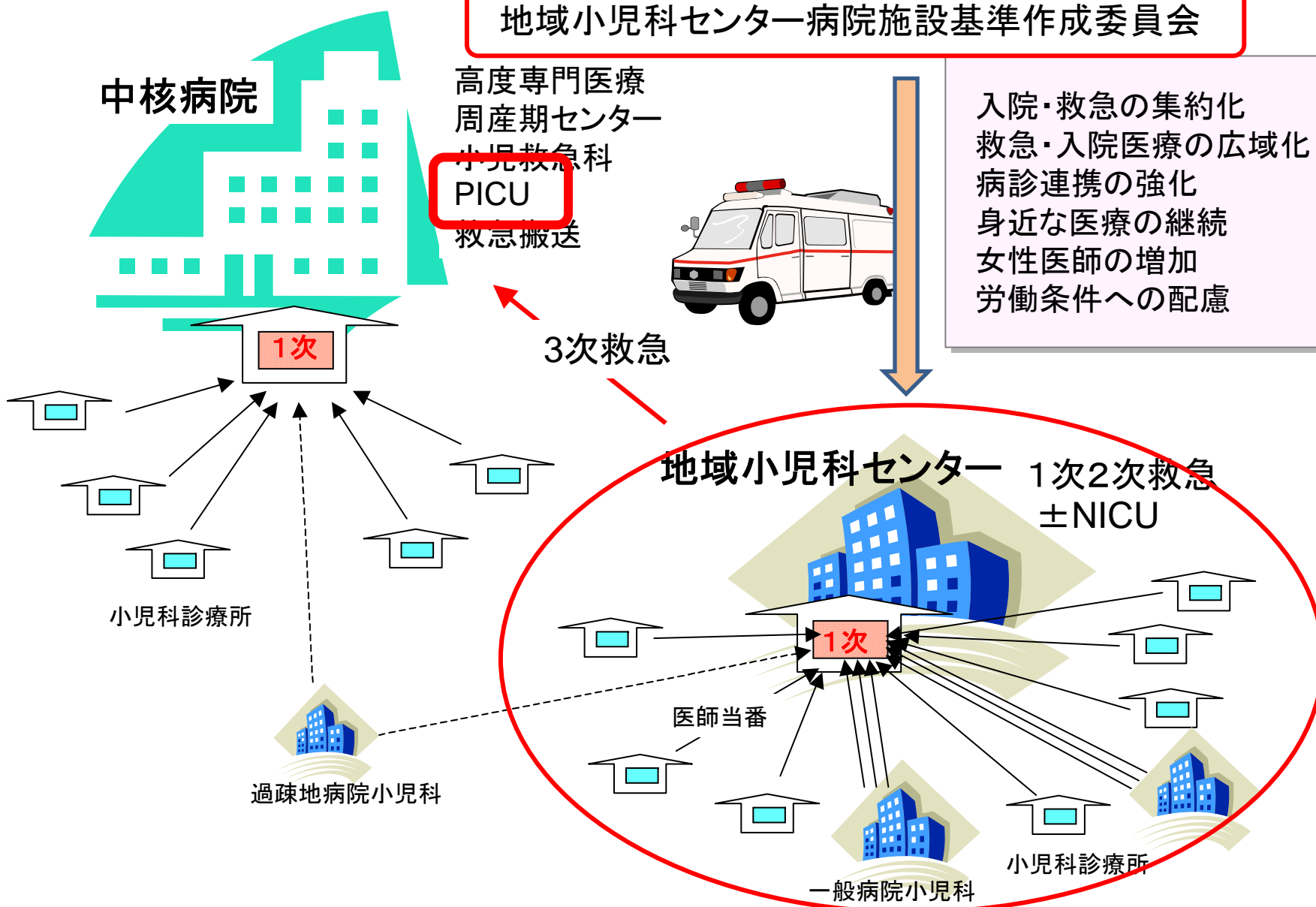
過疎地病院小児科

地域小児科センター 1次2次救急
±NICU

一般病院小児科

小児科診療所

医師当番



PICU調査(日本集中治療学会新生児小児集中治療委員会・2008年)

項目	総数(全国)
PICU(独立看護単位)	18施設
病床	120床
専属医師	37名

PICUを備えた小児施設の配置計画

	必要病床数*	中核病院数	PICUを有する中核病院数 ^b
北海道	20	6	2
東北	40	5+ α	4
関東	146	24+ α	15
北陸・中部	84	12+ α	9
関西	87	16	9
中国	31	6	3
四国	16	3+ α	2
九州・沖縄	63	13	7
総計	487 床	85+ α 施設	51 施設

ICU必要数 1床/小児4万人

米国 1床/小児人口2万人

EU 1床/小児人口4万人

* ICUは10床規模とする

小児救命救急センターの医療体制(小児科学会)

組織 小児救命救急センターは小児救急部(外来)とPICU(入院)で構成する。

小児救急部 外来治療。入院病床はない。ベッドは初期治療・観察が中心。

小児集中治療部 集中治療室病床 Pediatric Intensive Care Unit

PICUに院内患者が入院する場合は、(救急+院内)の両方の患者を扱う。

人員 24時間応需体制のもとで

小児救急部

小児救命救急専門医が必須

小児救命救急専門看護師が必須

小児集中治療部

小児集中治療専門医・小児集中治療専門看護師が必須

病院内に必須

小児科医

麻酔科医

小児外科医

技師等(診療放射線技師、検査技師、薬剤師、保育士)

30分以内に必須

放射線科医

循環器科医

臓器専門医(腎臓、血液・悪性腫瘍、内分泌、消化器、アレルギー、神経、呼吸器、精神科、感染症)

外科(小児外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、形成外科、口腔外科、婦人科、

微小血管外科、手の外科、眼科、心臓血管外科)

技師等(診療放射線技師、ME技師、検査技師、薬剤師)

技師等(ソーシャルワーカー)

小児救命救急センター構想(小児科学会)

